

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書

【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

寒い郷の快適住宅

グループの名称

驚異の職人集団シクーク住宅研究会

直近採択グループ番号

06-0322-0060

(グループ代表者)

代表者名	陳場 寛昭	代表者印
代表者所属先	有限会社陳場工務店	
代表者所在地	岩手県二戸市下斗米字釜屋敷17-1	
代表者電話番号	0195-23-3827	

(グループ事務局)

事務局事業者名	株式会社ブルケン東日本 軽米営業所	
事務局担当者名	工藤 宣雄	印
事務局郵便番号	028-6302	
事務局所在地	岩手県九戸郡軽米町大字軽米16-37-35	
事務局電話番号	0195-48-1234	
事務局FAX	0195-48-1200	
事務局担当者E-mail	kudo@h-d-onishi.com	

1. 地域型住宅の名称(必須)	寒い郷の快適住宅
2. グループの名称(必須)	驚異の職人集団シケロ住宅研究会
3. 直近採択グループ番号(必須)	06-0322-0060
4. 地域型住宅供給対象地域(必須)	青森県・秋田県・岩手県
5. 結成年(必須)	2006 年
6. グループ代表者名(必須)	陳場 寛昭
7. グループ代表者の所属先(必須)	有限会社陳場工務店
8. グループ代表者所在地(必須)	岩手県二戸市下斗米字釜屋敷17-1
9. グループ代表者電話番号(必須)	0195-23-3827
10. グループ事務局事業者名(必須)	株式会社ブルケン東日本 軽米営業所
11. グループ事務局担当者名(必須)	工藤 宣雄
12. グループ事務局郵便番号(必須)	028-6302
13. グループ事務局所在地(必須)	岩手県九戸郡軽米町大字軽米16-37-35
14. グループ事務局電話番号(必須)	0195-48-1234
15. グループ事務局FAX番号(必須)	0195-48-1200
16. グループ事務局担当者E-mail(必須)	kudo@h-d-onishi.com

(構成員数)		(構成員を含まない理由)
I. 原木供給	11	
II. 製材・集成材製造・合板製造	15	
III. 建材流通(木材を扱わない事業者を除く)	5	
IV. プレカット	2	
V. 設計	1	
VI. 施工	38	/
VII. 木材を扱わない流通	0	
VIII. I～VII以外の業種	0	

A. 使用する地域材に関する事項 (必須)	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称		国内・国外	
			番号記入欄			
<input checked="" type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する <input checked="" type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する <input type="checkbox"/> PEFC認証制度を利用する <input checked="" type="checkbox"/> PEFC認証制度を利用する <input checked="" type="checkbox"/> SGEC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FSC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FSC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FIPC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> クリーンウッド法に基づく証明 <input type="checkbox"/> クリーンウッド法に基づく証明			※以下該当の1、2、3の番号を番号記入欄に記入してください。 1.都道府県の産地認証制度等によるもの 2.民間の第三者機関による認証制度(FSC、PEFC、SGEC等) 3.林野庁作成の「木材・木村製品の合法性、持続可能性のためのガイドライン(平成16年2月)」に基づき合法性が証明されるもの 4.クリーンウッドに基づき合法であることが確認された木材・木村製品(合法伐採木材等証明)			
		国産材	3	国内		
		外材	3	国外		
		国産材	2	国内		
		外材	2	国外		
		国産材	2	国内		
		国産材	2	国内		
		外材	2	国外		
		国産材	2	国内		
		国産材	4	国内		
		外材	4	国外		
	岩手県産材	岩手県	岩手県産材証明制度	1	国内	
	青森県産材	青森県	青森県産材認証制度	1	国内	

B. 平成30年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		10	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	10	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		6	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	6	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
	長寿命型	長期優良住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		20	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	20	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		15	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	15	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
		認定低炭素住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
性能向上計画認定住宅		経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
性能向上計画認定住宅		未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限125万円)		0	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸				
			上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸				
		その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)		0	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸				
ゼロ・エネルギー住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限140万円)		0	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸				
			上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸				
		その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)		0	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸				
C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数		今年度要望する棟数及び面積		30棟				
				3900㎡					
				21棟					
				2730㎡					
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	先着順に配分していくが、長期優良住宅の実績経験がない工務店を優先する。								
E. 平成29年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)								
	採択戸数	14	戸	交付申請戸数	9	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	9	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)								
	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)								
	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)									
採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸	
優良建築物型									
採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0	戸	
採択床面積	0	㎡	交付申請床面積	0	㎡	完了実績(竣工予定含む)床面積	0	㎡	

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 寒い郷の快適住宅	(地域型住宅供給対象地域) 青森県・秋田県・岩手県
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 驚異の職人集団シークロ住宅研究会	(結成年) 2006年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	06-0322-0060	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	地震に強く、工期短縮、気候風土に対応した省エネで快適な住宅を目指す	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	○快適性:冬暖かく夏涼しい住宅○耐久性:地域材、合法木材を多用した住宅○耐震性:枠組壁工法による住宅や、在来工法の金物プレカートを標準とする地震台風に強い住宅(仕様によっては例外あり)	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	過半が東日本大震災の被災区である当研究会のエリアでは地震に大変敏感になっている。その観点からも在来工法においては、県産材及び合法木材を50%以上使用し、地震に強い金物プレカートを標準仕様とする。但し、仕様によっては例外もあろう。和を意識し、地域の住文化を継承したプラン提案をしていく。	◎
④①～③の背景	当地域は平成25年省エネ基準における温熱区分2、3、4地域が混在する地域で、山間部に寒さは大変厳しい。また、東日本大震災の被災地も含まれており、復旧復興が急がれる地域である事が背景にある。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

イ. 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備

【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 外部サポートセンターの指導による用材寸法の統一化を図り、使用規格材の種類を減らし効率化を図る。	◎
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 当研究会の賛助会員として建材メーカーにも参加頂き、推奨建材として指定し、価格を下げてもらいコストダウンに繋げる。	◎
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 外部サポートセンターの指導による標準設計手法の研修会を開催する。	◎
②-1 建材・資材調達のコスト削減	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 共通資材の年間使用予定量を提示し、コストダウンと年間価格の安定化や必要量の確保をしていき、資材不足による値上がりや工期の遅れを出来るだけ少なくする。	○
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 事務局が各構成員の資材使用時期・数量を確認し、事前調達により工期の遅れを防ぐ。	○
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 隔月開催の定例会	◎
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 隔月開催の定例会において、外部講師やメーカーを招き研修会を開催し、構成員のレベルアップを図る。また、若手育成のための研修会を開催し、やる気と能力開発の向上を目指す。	◎
b		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 在来工法では地震に強い金物プレカートを標準仕様とする。但し仕様によっては例外も有りうる。	◎
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 出荷証明書や地盤調査報告書による信頼性向上に努める。	○
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 外部サポートセンターの指導による標準設計、見積書・実行予算書作成の標準化を行い、消費者の不安を取り除く。	○
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: ○完成引渡し制度の講習会の開催及び、積極的な活用を求める。○現場見学会の共有により、現場の安全や整理整頓などの意識を高め、消費者への安心感を与える。	○
c		
① 週休2日制の導入の取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 隔月開催の定例会において、構成員に月1回の土曜休暇を設けるように提案する。	○
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 技能に卓越した従業員に対して、賃金格差を設ける様に構成員に提案する。	○
③ 社会保険への加入	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 隔月開催の定例会において、議題とし、検討を図る。	○
④ 安全及び健康の確保のための取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 時間外労働を増やさない様努める。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 寒い郷の快適住宅	(地域型住宅供給対象地域) 青森県・秋田県・岩手県	
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 驚異の職人集団シークロ住宅研究会	(結成年) 2006年	
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0322-0060		
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取り組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。			
ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備			
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄	
a	① 住宅履歴情報の蓄積	①-1 内容・蓄積の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 国土交通省登録機関を利用し、住宅履歴情報を管理する。	○
		①-2 情報サービス機関の活用 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 「住宅履歴の図書館」を推奨する。	◎
		①-3 履歴情報蓄積の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 構成員による事務局への報告の義務付けをする。	○
	② メンテナンス基準	②-1 点検の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住まいてにわかりやすい診断・点検方法のマニュアル・チェックシートを作成する。	○
		②-2 補修の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 補修・クレームは事務局でも受付し、迅速な対応を心がける。	○
		②-3 点検補修実施の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: チェックシートにより実施の確認。	○
	③ 住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 隔月定例会時に勉強会を実施。	◎
		③-2 DIY体験会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 各エリア内の市町村で開催行事に積極的に参加・PR/ DIY体験会を実施。	○
		③-3 その他の相談会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 現場見学会などで、住まいの相談コーナーを設けアドバイスする。	○
	④ 維持管理委員会等の設置 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が中心になり管理委員を設置し、維持管理のルールを決めていく。	○	
⑤ その他の維持管理の手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 維持管理方法のマニュアルを作成し、それに沿って維持管理をしていく。	○		
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 窓口を明確化し、施主の不安解消の為、グループ全体でバックアップする。	◎	
	② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 外部サポートセンターによる勉強会の開催	◎	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			
エ. グループの技術力の向上			
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄	
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 当研究会において開催する定例会で経験工務店を講師とした技術研修の開催。	◎	
	②-1 品質管理のための共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 外部講師のアドバイスを受け事務局がチェックシートを作成する。	○	
	②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 定例会時にチェックシートを提示し、守られているかチェックする。	○	
	③-1 需給計画の策定 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 平成30年までにおおむね長期優良住宅30棟、認定低炭素15棟を目標にする。	○	
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 定例会で経験工務店からのアドバイスを受けながら品質管理のレベルアップを図る。	○	
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ共通の工程表を作成・共有し、工期の徹底を図る。	○	
b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数 昨年度までの終了者数 44 今年度の参加目標人数 4	○	
	①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数 昨年度までの終了者数 26 今年度の参加目標人数 4	◎	
	② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局より開催時期の案内及び受講の必要性を都度呼びかける。	◎	
c	① 新たな技術等の導入 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 外部講師によるセミナー開催や各メーカー主催の勉強会への積極的な参加。	◎	
	② 新たな技術等の開発 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 当研究会で導入したサーモグラフィカメラによる断熱欠損のチェックや施工技術の向上を図る。	◎	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 寒い郷の快適住宅	(地域型住宅供給対象地域) 青森県・秋田県・岩手県													
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 驚異の職人集団シクロー口住宅研究会	(結成年) 2006年													
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0322-0060														
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取り組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。															
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与															
【平成30年度対応方針】															
a	① 地域材利用に関する共通ルール(必須)	在来工法においては、主要構造材の50%以上をグループ指定の地域材又は合法木材を使用する。枠組壁工法においては使用量の70%以上をグループ指定の合法木材を使用する。尚、木拾い表、納品書、地域材又は合法木材の証明書等をもって確認する。	◎、○ 記入欄												
	② 地域材利用の1棟当たりの割合(必須)	<input type="checkbox"/> 50%未満 <input checked="" type="checkbox"/> 50%以上 <input type="checkbox"/> 80%以上	○												
	③ 標準的な地域材の使用部位(必須)	<table border="1"> <tr> <td>主要構造材</td> <td>土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>柱: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>羽柄材</td> <td>間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>造作材</td> <td>枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>板材</td> <td>壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> </table>	主要構造材	土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している		柱: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している		梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している	羽柄材	間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	造作材	枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	板材	壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	○
主要構造材	土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している														
	柱: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している														
	梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している														
羽柄材	間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している														
造作材	枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している														
板材	壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している														
	④ 地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明	<p>在来工法のフロー図</p> <p>※この図は代表的な流れを表したものであり、例外もあります。</p> <p>合登岩手県産材事業者材業及証明</p> <p>枠組壁工法の場合 SPF材は、製材品を海外から調達するためⅢ流通グループに所属する出荷者による合法性の証明によって代替する。</p> <p>グループ構成員 上記以外</p>													
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 共通資材の年間使用予定量をメーカーに提示し、必要数量を確保する。	◎												
	①-2 地域材価格の共有の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 共通資材の年間使用予定量から事務局が窓口になり価格交渉し、構成員へフィードバックする。	◎												
	② グループ全体における地域材の需給予測	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 当エリアでも復興住宅建築増による人手不足、地域材不足が予想される。電子メールを積極的に活用し、構成員情報共有を図り、早めの対策を取る。	◎												
c	①-1 畳の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(1畳換算) 100枚	○												
	①-2 和瓦の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数: 500枚	○												
	①-3 襖の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(3×6換算) 60枚	○												
	①-4 障子の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(3×6換算) 60枚	○												
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 県産材使用はもちろんであるが、青森ヒバ、秋田杉、岩手南部赤松などを積極的に取り入れていく	○												
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 青森ヒバ、秋田杉、岩手南部赤松などの無垢材を利用した腰壁など構造材だけでなく、木の良さをできるだけ表面に出していく。	○												
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 地域型住宅の供給地域は、美しい海、緑豊かな山々に囲まれた自然豊かな地域である。地場産材や昔から伝えられてきた技術を活かし、景観に溶け込み長期に渡って住み続けられる住宅の提供を目指す。	◎												
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 地元工務店が代々施主とお付き合いできるよう、地域に引き継がれている住まい方・伝統を工務店後継者へ伝承することも研究会の使命とする。	○												
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 沿岸部では塩害、内陸部では積雪・寒さの対策を第一に考え自然や町並みに調和するような提案をしていく。	○												
	④ 和の住まいの要素を取り入れた取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 「やすらぎ」「調和」「郷」をテーマに開発をすすめていく。	○												
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。															
カ. その他															
【平成30年度対応方針】															
	東日本大震災の復興に資する取組	I、II、III、IVの構成員ほとんどが東日本大震災の特定被災地域であり、当グループの活動が地域経済の復興・発展に少なからず貢献できるものと確信しています。	◎												
	平成28年熊本地震の復興に資する取組														

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。